

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすまいりいぶらす			
○保護者評価実施期間	令和7年6月1日 ~ 令和7年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年6月1日 ~ 令和7年6月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントは児発管だけでなく従業員も面談に入り、ご家族のご要望を細かく確認したり、デイサービスでの様子を伝えている	担当制にして普段から毎月の評価をしながら課題を認識し、支援計画を意識しながら支援している	今後も保護者からの情報等は従業員で共有していく
2	子どもの状況に合わせたプログラムを実施し、集団、個別、年齢別等計画し支援を行っている	集団の大切さ(ルール・マナー)、個別はそれぞれの課題に注目する 年齢別では就労に近い児童への将来に向けたよりリアルな内容での支援を目指し、作業所の見学を行っている	引き続き子ども自身が選択したり、自分達でプログラムの考案をして実践し、成功体験を増やしていく
3	系列の事業所と合同のプログラムを行ったりして交流の機会を設けている	音楽会や水遊びなど他事業所との交流により、より豊かな人間関係や社会性のスキルを身につける機会を設けている	今後も幅広い年齢間での交流や施設内外のさまざまな体験をとおして成功体験を増やしていく

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務や支援計画の共有面ではパート職員への共有が必要となる	勤務時間が短いこと、送迎などで不在になることもあり伝達が漏れてしまうことがある	パート職員にはLINE等で伝えるだけでなく、なぜその支援が必要なのかを細かく口頭で説明する
2	帰りの送迎に時間を要し、1日のまとめや振り返りができず次の日になることが多い	その日の送迎人数・渋滞による送迎時間過多のため時間を要してしまう	今後も送迎を分別化し一人あたりの人数を少なくできるよう検討する 全員揃わなくても話し合い結果をシートに記入する、その中に話し合いが難しい場合は次の日に行い記録を残しておくことは引き続き行う
3	家族が参加できる機会を作れるような取り組みを考えていく	個別に相談できる機会はあるものの、全体の参加となると会場・駐車場などの問題がある	引き続き茶話会や参観日開催、保護者が共有できる勉強会や悩みを相談できる会の実施を検討していく それぞれの家庭都合があるため、事前にアンケートを取る必要もある

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	放課後等デイサービスすまいりいぶらす		公表日 令和7年10月20日		利用児童数 47		回収数 32	
環境・体制整備								
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1		6	実際の活動場面を見ることが少ないので分かりませんが、十分な支援体制で対応して下さっているのではと感じます	基準以上のスタッフを配置し、内容によって部屋ごと・机ごとに担当をつけたりして見渡せるようにしています
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	31			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	4	5	13	限られた時間や特性もあり難しいと思う	現在も時間のある時には外出や公園あそびを取り入れて地域の方と交流する機会を作っていますが、今後増やしていく方と考えています
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	4	2	8	そのような機会があつても、都合等で参加は難しいと思う	共働きのご家庭も多いので研修会を開催することは難しいですが、送迎時やLINEにて個別の相談に対応しています
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	30	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29			3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	5	13	そのような機会があつても、都合等で参加は難しいと思う	共働きのご家庭も多く平日開催は難しいですが、ご家族やご兄弟の方も含めた交流の機会を設けられるよう検討していきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			3		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	31			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		5	訓練は定期的に行って下さっています マニュアルに関しての記憶が曖昧です	地震・洪水・火災・防犯などの避難訓練や通報訓練も定期的に行っており、各種マニュアルは事業所玄関に配置しておりすぐに閲覧できます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知されるる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32					
	29	事業所の支援に満足していますか。	32					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスすまいりいぶらす				公表日 令和7年 10月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		十分スペースは確保されており、扉で仕切ることができるためにクールダウン時も対応可能 壁や扉による死角は見守りカメラを設置することで視界不良を解消している	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			配置を多くすることに関しては専門的支援要員を検討していく
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		壁や扉などの必要な箇所に視覚支援カードを貼り、段差を軽減するためスロープを設置するなど配慮をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		換気や消毒を徹底しており、体調が思わしくない時は休養スペースを作っている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境くなっているか。	5		用途に応じて部屋を分けて使用しており、スタッフも部屋ごとに分かれ対応している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日話し合いや振り返りを行っている	社員は情報共有ができるが、パートへの共有方法をどう改善していくかが課題である
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々意見交換を行い改善に努めている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		外部評価は行政書士にて一部行っていたいている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部の研修も積極的に参加し、研修を受ける機会が確保されている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		内容に沿った写真を掲載した支援プログラムを作成し公表している 毎月の利用日程表にもプログラムの詳細を記載し保護者に伝えている	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者の話をきいたり、職員間で話し合いアセスメントをしている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員で話し合い、理解を深めながら検討している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	職員がいつでも計画を閲覧できる場におき目を通している	日々改善を重ねていく中で、パートへの情報共有が課題である
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		公共施設の見学などの活動を行っている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		基本は担当者が立案しているが、職員同士で意見を出し合い立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		日々情報収集しながら季節ものや新しいことにも取り組むようにしている	

19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人一人の特性にあつた支援を職員間で話し合っている		
				全員が共有できるように話し合っている		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		振り返りの場合は翌日になる場合もあるが行つておらず、不在の職員には後日口頭にて伝えていている		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		業務日誌には毎日記録をしている	支援についての検証に繋げるため、振り返りや気づき事項を話し合い記録に残していく	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		職員で話し合いながら見直しを随時行っている		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		担当者会議に参加し関係機関と連携を取っている		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		状況や場面に合わせて支援を行っている		
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		誰でも参画できるように社員全員が理解し、会議内容を情報共有している		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議に参加し関係機関と連携を取っている	今後も医療機関との連携がとれるように検討していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		下校時間、行事予定などの把握を全員出来るように相互チェックをしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	相談支援員を通し出来ている所と出来ていない所がある
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	他の放課後デイでの行事に参加したり、近場の公園などで関わる機会を持つようにしている	相談支援員を通し出来ている所と出来ていない所がある
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	協議会への周知を広めるように努める
	31	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	送迎時やラインで連絡をし、理解に努めている
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	家族会などの開催を検討していく
	33	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	相談時はその都度応じている
	34	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		今後も茶話会などを再開できるように検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		意見箱やツールを使い、いつでも意見や相談できる体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページやインスタグラムで定期的に発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報のファイルは鍵付きの棚に保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		今後も検討が必要である
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員には周知できている。家族には来所時に玄関に掲示してあるものを見ていたとするようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		訓練や災害リュックの準備や定期チェックを行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		職員間でも共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	保護者にも確認している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間計画に入れて実施している	毎月安全計画の予定を立案して日常的に安全確認を行えるように検討していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの事例が発生した際にすぐ記入できるよう各自用紙を持ち記入している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部の研修に行ったり年2回の話し合いを行い、常に意識して行動している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		個別支援計画にも記載し職員間で情報共有を行い、保護者の了承を得ている	